

【西区】令和7年第1回区づくり推進横浜市議員会議

令和7年2月5日(水) 15時30分開始
西区役所 4A会議室

次 第

1 開 会

2 座長の選出

3 議 題

(1) 令和7年度 西区編成予算(案)

(2) 令和7年度 西区編成予算(案) 主要事業

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

エ 子育て支援の推進

オ 地域連携推進・回遊性向上事業

カ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業

キ スポーツ振興事業

ク 藤と季節の花がつなぐまちづくり事業

ケ 西区 みんなでエコアクション! 推進事業

コ 地域防災活動推進事業

【参考】西区における開発動向等

4 会議報告書の作成

5 閉 会

3-(1) 令和7年度 西区編成予算（案）

【基本的な考え方】

～ つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ ～

西区の基本目標である「つながりを大切に誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、「市民目線」「スピード感」「全体最適」の視点を持ちながら、「子育てしたいまち、次世代を共に育むまち」の推進などあらゆる世代の皆さまへのサービス向上に向けて各事業を展開します。

令和6年に西区は区制80周年を迎え、区民・企業・団体・区役所が一体となって、周年を祝う取組を実施しました。この80周年で生まれた新たなつながりをあらゆる面で生かし、区民、企業の皆様との協働により第5期「にこまちプラン」の策定、GREEN×EXPO 2027の機運醸成、横浜駅周辺の環境向上、地域防災力の向上や警察と連携した防犯対策等の推進など様々な事業に、区民が各事業の効果を最大限実感できるよう、取り組んでいきます。

- 地域のつながりづくり
- いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
- まちの回遊性向上とにぎわいづくり
- 安全・安心なまちづくり
- 親しみやすい区役所づくり

1 区分別総括表

(単位:千円)

	7年度予算額	6年度予算額	差 引
自主企画事業費	100,598	100,653	▲ 55
統合事務事業費	35,356	34,199	1,157
統合事務費	20,176	18,239	1,937
統合事業費	15,180	15,960	▲ 780
区庁舎・区民利用施設管理費	485,088	472,778	12,310
合計	621,042	607,630	13,412

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

区 分	7年度予算額	6年度予算額	差 引	主な事業
地域のつながりづくり	11,605	19,871	▲ 8,266	・「にこやかしあわせくらしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 ・西区ふれあい福祉推進事業
いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	18,266	21,937	▲ 3,671	・西区で子育て支援事業 ・高齢者あんしん生活サポート事業 ・障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業
まちの回遊性向上とにぎわいづくり	33,382	30,680	2,702	・地域連携推進・回遊性向上事業 ・商店街及び「まち」のにぎわい創出事業 ・スポーツ振興事業
安全・安心なまちづくり	28,971	20,371	8,600	・地域防災活動推進事業 ・西区 みんなでエコアクション! 推進事業
親しみやすい区役所づくり	8,374	7,794	580	・サービス改善推進事業 ・区庁舎・区民利用施設環境整備事業
合計	100,598	100,653	▲ 55	〈26事業〉

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	7年度予算額	6年度予算額	差 引	概 要
統合事務費	20,176	18,239	1,937	各課で事務・運営を行っていくために必要な事務費を適正に執行します。
統合事業費	15,180	15,960	▲ 780	
広報よこはま西区版発行事業・区民相談事業	9,587	10,429	▲ 842	「広報よこはま西区版」の発行を通じて、区民に区の事業及び地域の情報を提供します。また、区民からの要望・提案等広聴の総合的な窓口となり、区民に身近な区の運営に生かします。さらに、区民が生活する上で生じる様々な相談に応じます。
クリーンタウン横浜事業	594	600	▲ 6	横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、地域におけるごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を目指します。
緊急時情報システム運用事業	604	502	102	発災時に地域住民等に対し電話で緊急情報を伝達する手段である緊急時情報システムを運用します。
スポーツ推進委員事業	2,305	1,365	940	スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進により、区民の健康増進、体育振興を図ります。
青少年指導員事業	1,195	2,169	▲ 974	青少年の健全育成を目的とする青少年指導員協議会の活動の支援を行います。
学校・家庭・地域連携事業	720	720	0	中学校区等で組織されている学校・家庭・地域連携事業推進協議会への活動費助成を行います。
健康づくり月間事業	175	175	0	関係団体による区民に対する情報発信・啓発活動等により、保健・衛生に関する知識の普及、地域に根差した自発的な活動の推進及び区民の健康増進を図ります。
合 計	35,356	34,199	1,157	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	7年度予算額	6年度予算額	差 引	主な施設等
区庁舎管理費	97,654	96,749	905	
区庁舎	58,607	58,794	▲ 187	西区役所
行政サービスコーナー	7,020	7,229	▲ 209	横浜駅行政サービスコーナー
区版市民活動支援センター	20,534	20,572	▲ 38	にしく市民活動支援センター
土木事務所	9,779	8,423	1,356	西土木事務所
区庁舎修繕費	1,714	1,731	▲ 17	
区民利用施設管理費	387,434	376,029	11,405	
公会堂	38,471	37,278	1,193	西公会堂
地区センター	87,942	84,268	3,674	西、藤棚地区センター
集会所	11,509	11,119	390	平沼集会所
ログハウス	9,446	9,081	365	境之谷公園こどもログハウス
老人福祉センター	58,899	56,902	1,997	野毛山荘
コミュニティハウス(条例型)	39,212	37,969	1,243	浅間、戸部コミュニティハウス
コミュニティハウス(学校施設活用型)	38,037	38,537	▲ 500	西前小、稻荷台小、東小、軽井沢コミュニティハウス
スポーツセンター	102,912	99,837	3,075	西スポーツセンター
広場・遊び場	236	238	▲ 2	西平沼こどもの遊び場等
区民利用施設修繕費	770	800	▲ 30	
合 計	485,088	472,778	12,310	

令和7年度 個性ある区づくり推進費(自主企画事業)施策体系別一覧

※新規・拡充について

新規：前年度事業がない新規の事業、あるいは細事業に新規事業がある事業

拡充：事業費の増減にかかわらず、事業対象範囲等を拡大した事業

1 地域のつながりづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R7年度 事業費	R6年度 事業費	事業費 増▲減
1		地域活動事業	2,708	3,314	▲606
2		西区「学び・つながり」支援事業	1,577	1,634	▲57
3		西区ふれあい福祉推進事業	2,924	2,954	▲30
4	拡充	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	4,396	2,469	1,927
	終了	区制80周年記念事業		9,500	▲9,500
小 計			11,605	19,871	▲8,266

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R7年度 事業費	R6年度 事業費	事業費 増▲減		
1		読書活動推進事業	1,569	1,689	▲120		
2	拡充	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,575	1,494	81		
3	拡充	西区子育て支援事業 旧西区で子育て学び隊事業 2事業統合	4,532	3,987	545		
	統合	地域子育てサロン運営支援事業				338	▲338
	統合	女性と子どものための相談支援強化事業				148	▲148
4	拡充	西区の保育施設つながり事業	700	570	130		
5	拡充	健康づくり応援事業	2,672	1,739	933		
6		高齢者あんしん生活サポート事業	2,864	2,864	0		
7	拡充	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,354	3,949	405		
	終了	区役所キッズスペース運営事業		5,159	▲5,159		
小 計			18,266	21,937	▲3,671		

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：千円)

番号	新規 拡充	事業名	R7年度 事業費	R6年度 事業費	事業費 増▲減
1		広報充実事業	2,318	3,580	▲1,262
2	拡充	地域連携推進・回遊性向上事業	7,146	5,337	1,809
3		商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,910	2,910	0
4	拡充	藤と季節の花がたなぐまちづくり事業 旧西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	5,000	2,217	2,783
5		西区民まつり事業	6,007	6,007	0
6		ふるさと西区魅力発信事業	5,162	5,290	▲128
7		地域文化振興事業	500	700	▲200
8		スポーツ振興事業	4,339	4,639	▲300
小 計			33,382	30,680	2,702

4 安全・安心なまちづくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R7年度 事業費	R6年度 事業費	事業費 増▲減
1	拡充	西区 みんなでエコアクション! 推進事業 旧西区「Zero Carbon」推進事業	3,851	3,147	704
2		交通安全事業	2,895	2,937	▲42
3	拡充	地域防災活動推進事業	20,285	12,530	7,755
4		安心して暮らせるまちづくり推進事業	600	610	▲10
5	拡充	食中毒・感染症予防対策事業	1,340	1,147	193
小 計			28,971	20,371	8,600

5 親しみやすい区役所づくり

(単位:千円)

番号	新規 拡充	事業名	R7年度 事業費	R6年度 事業費	事業費 増▲減
1		区庁舎・区民利用施設環境整備事業	5,597	5,039	558
2		サービス改善推進事業	2,777	2,755	22
小 計			8,374	7,794	580
合 計			100,598	100,653	▲55

3-(2) 令和7年度 西区編成予算(案)主要事業

地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)
【予算額 4,396千円(対前年度比 1,927千円増)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和7年度は、第4期計画(令和3～7年度)の最終年度を迎えます。区制80周年で生まれた地域の皆さまのつながりを生かし、現在の計画を着実に進めるとともに、令和8年度から始まる次期第5期計画(令和8～12年度)の策定にも注力していきます。

次期計画の策定にあたっては、区全体計画、地区別計画とともに、令和6年度に実施した現行計画の振り返りを踏まえ、向こう5年間の目指す姿を見据えた計画を、地域や関連機関等と一体となり「オール西区」で進めていきます。

(1) 「にこまちプラン」の推進等(4,396千円)【拡充】

① 「にこまちプラン」(第4期計画の推進、第5期計画の策定)

「区全体計画」については、計画の策定・推進に区役所一丸となって取り組み、重点的に進めます。また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(計2回：9月、1月実施予定)や「計画策定検討会」(7月実施予定)を開催し、第4期計画の推進と第5期計画の策定を進めていきます。

「地区別計画」については、地域における様々な課題の解決に向けて、引き続き、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザによる地区支援チームが連携し、地域の取組を支援していきます。また、第5期計画の策定についても、各地区における検討を、地区支援チームがサポートしながら、地域の皆さまとともに進めていきます。

■参考：第27回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会
【開催日】令和6年12月9日
【会場】西区役所3階AB会議室
【内容】第4期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)
区全体計画の振り返り(意見交換)等



推進評価委員会



地区別計画の検討

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の 広報・啓発

地域活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催します。各地区が策定する第5期地区別計画を発表いただく予定です(令和8年2月実施予定)。

また、広報よこはまの特集やオリジナル啓発ノベルティの配布のほか、西区ホームページなどを積極的に活用し、地区別計画の取組を広く周知していきます。

加えて、小学校への出前講座を実施するなど、引き続き「子ども向け啓発」を進め、子どもたちやその親世代(現役世代)の参加意識を醸成し、新たな担い手の発掘・育成につなげます。



令和5年度「にこまちフォーラム」

■参考：令和6年度「にこまちフォーラム」(予定)

【開催日】令和7年2月15日

【会場】西公会堂

【内容】

第1部 ①各地区の取組発表会

第4期にこまちプラン地区別計画の振り返り

②ミュージカル「にこまちの光」

宮谷小学校6年3組の子ども達によるミュージカル

第2部 防災講演会

講師：鈴木 光 氏(一般社団法人減災ラボ 代表理事)

地域の災害リスクの理解を深める減災教育プログラムを考案し、全国各地の地域や学校等で実践。能登半島地震以前から被災地で続けてきた支援活動の経験を、地域防災や福祉防災に生かしている。全国紙にも連載がありご活躍中。

いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

イ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 2,864千円(前年度同額)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

(1) 地域包括ケアシステム推進事業(891千円)

① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します。また、オンラインツール等を活用した広報により、関心が希薄な方々へPRしていきます。

② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザー派遣や、有識者の講師を招聘します。

(2) 認知症等高齢者支援事業(964千円)

① 軽度認知障害（MCI）・認知症の理解、早期対応の機会づくりの促進

認知症の理解と早期対応の機運を高めるため、区民が気軽に脳の健康チェックができる機会をつくとともに、予防につながる活動を推進し、必要な方にはもの忘れ検診等、必要な支援につなげます（通年）。

軽度認知障害と診断された方に対し、認知症予防のポイントと予防につながる活動ができる地域の居場所について紹介したリーフレットを、地域包括支援センターや医療機関等の関係機関と連携し、配布します。（通年）また、軽度認知障害（MCI）や認知症初期と診断された方の診断後支援の一環として、重症化予防に効果がある運動に取り組める機会づくりを行います。（10月～）。

② 認知症サポーター養成講座・普及啓発人材育成研修の実施（健康福祉局 区配事業含む）

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。（通年）

また、認知症キャラバン・メイト（登録者数177名）等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。（6月、2月予定）

(3) 健康づくり・介護予防事業(1,009千円)

① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操
～パタカラバージョン～

② 介護予防普及啓発の実施 (健康福祉局 区配事業含む)

西区の健康課題であるフレイル予防(オーラルフレイル及び低栄養予防)の重要性を啓発するため、東京都健康長寿医療センター歯科医師、栄養士による講演会を開催します。(5月30日予定)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数30名)等の人材育成研修を開催(6月予定)し、地域における体力チェック等の活動の充実を図ります。

地域の身近な居場所における、オーラルフレイルを切り口とした介護予防啓発を実施します。(通年)

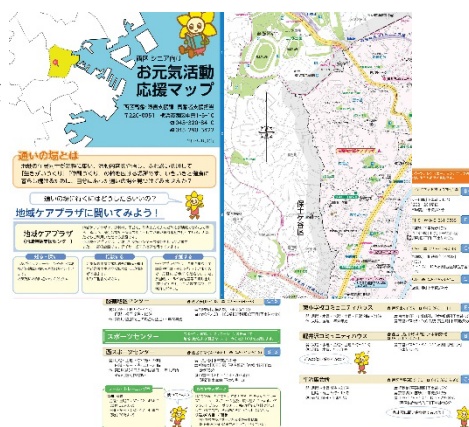


令和6年度介護予防講演会の様子

■参考：令和6年度 介護予防講演会
 「こんな時代に低栄養?!人生100年時代 65歳からの食事のポイント」
 【講師】中村丁次氏(日本栄養士会代表理事会長)
 【開催日】令和6年5月29日 西公会堂 ホール
 【対象者】西区在住・在勤の方
 【参加者】262名

③ 介護予防リーフレットの配布

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットを配布し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「西区お元気活動応援マップ」
 西区内の介護予防に関する取組の紹介

ウ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額4,354千円(対前年度比 405千円増)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、障害者が自ら望む生活の選択や居住確保に向けた支援をしながら、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

(1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,557千円)【拡充】

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

① 地域防災拠点訓練での啓発

地域防災拠点訓練等の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等について、ミニ講座などで啓発していきます。(3か所程度)

■参考：令和6年度地域防災拠点訓練等での障害啓発

【実施日・場所】7月23日 戸部小学校運営委員会 参加者：27名

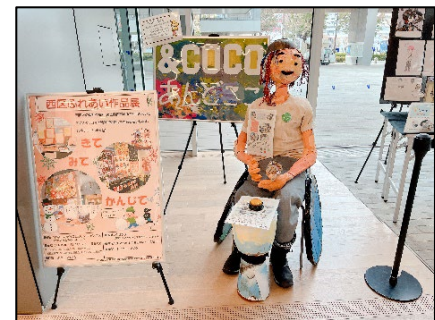
9月1日 一本松小学校 参加者：64名

9月8日 老松中学校 参加者：79名

3月(予定) 浅間台小学校



令和6年度地域防災拠点訓練



障害者施設利用者の作品展示
(神奈川大学みなとみらいキャンパス
エントランスホール)

② 障害理解促進のためのイベント企画

障害者施設の利用者等が制作した作品の展示や事業所製品の販売を、区内障害者施設等で行います。

障害者地域活動支援センターが障害者と地域住民等との日常的なふれあいの場となるよう相互に協力するとともに、適正な運営支援を行います。(通年)

地域活動ホーム等の関係機関と連携して、障害のある方と地域住民とがつながりをもてるイベントやPRを実施していきます。(通年)

■参考：令和6年度西区防災フェスタ

【実施日】令和7年2月24日(月祝)

【場所】生活創造空間にし



障害施設紹介リーフレット「西区 Style」

③ 地域住民への啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」を区民まつり等の機会一般の方に配布します。(通年)

④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。

(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」

(2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(597千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6か所)

③ 地域防災拠点(指定避難所)への対応

電源を要する医療機器を使用している方が災害時に充電できるように、令和5年度から地域防災拠点に発電機を配付して医療用充電ステーションとして整備しています。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付しており、令和7年度末には9拠点への配付を完了する予定です。

また、障害当事者が地域防災拠点に避難した際に、配慮が必要な状態が分かるよう黄色のバンダナの配布を進めます。



医療用充電ステーション用発電機

■参考：令和5年度配付先地域防災拠点

一本松小学校、軽井沢中学校、老松中学校

令和6年度配付先地域防災拠点(3月末までに完了予定)

戸部小学校、稲荷台小学校、浅間台小学校

(3) 障害者の地域生活支援事業(200千円)

障害者に対する地域生活支援の検討にあたり、必要とされるニーズの把握及び、障害者が地域の中で安心した生活を送るための企画・検討を行います。(通年)

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるため、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレット「じぶんらしく、にしく」

(令和5年度作成)を障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布し理解を促進します。(通年)



リーフレット「じぶんらしく、にしく」

エ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区子育て支援事業、地域の力を生かしたスクールサポート事業、西区の保育施設つながり事業)

【予算額 6,807千円(対前年度比 756千円増)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

(1) 西区子育て支援事業(4,532千円)【拡充】

① プレパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち参加ニーズの高い沐浴・おむつ交換などの体験を行う講座は、引き続き休日にも開催します。その他、委託により地域子育て支援拠点でも実施します(年6回)。

また、7年度は、父親のより積極的な育児参加につながる知識や心構えを学ぶ機会として、新たに「プレパパ向け」の講座を開催します。

“親になる前からの支援”を充実させ、赤ちゃんの誕生を父母がともに安心して迎え入れ、一緒に子どもを育てることの大切さを学ぶ機会としていきます。



プレパママクラス

② よちよちパパママ育児教室

初めてのお子さん(生後1か月～4か月)を持つ保護者を対象に、7年度は赤ちゃんの成長に大事な抱っこの方法や親子のふれあい遊びをテーマとした育児教室を開催します。さらに「おでかけの準備や工夫」を実践的に学ぶ機会とし、親子で安心して地域子育て支援拠点や子育てサロン等へ参加できることを目指します(年6回)。

③ 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で開催します(年10回×9会場)。

様々なプログラム(歯みがき、離乳食、親子遊び、子どもの救急蘇生法と事故予防、防災)により情報を提供し、初めての子育てをサポートします。



赤ちゃん教室

④ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。実施にあたっては、新たに地域子育て支援拠点との連携を図ります。

⑤ その他の子育て支援の推進

子育て応援ガイドや保育施設等一覧の作成により子育て情報の発信・提供などを行います。また、子育て世帯がより手軽に情報を得られるよう、「パマトコ」の活用やオンライン上での動画配信などを行うほか、区役所1階に区内の子育て情報を提供するコーナーを設置します。(なお、手続きのオンライン化等によるニーズの減少を踏まえ、区役所1階のキッズスペースは6年度末をもって廃止予定です。)



表紙

子育てガイド(西区子育て航海図)



中面(抜粋)

(2) 地域の力を生かしたスクールサポート事業(1,575千円)【拡充】

子どもたちの安全で健やかな日常を確保することを目的とし、新小学1年生を対象とした防犯ブザーの配布や危機管理教室を実施します。また、放課後キッズクラブ・放課後児童クラブ職員を対象とした区主催の人材育成研修を新たに実施します。



人材育成研修(イメージ)

(3) 西区の保育施設つながり事業(700千円)【拡充】

区内子育て関連施設が連携して、地区ごとに地域の会場へ出向いて行う育児講座や、保育施設に対するさらなる保育の質向上に向けた研修等を実施します。

また、南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業を実施します。



地域の親子に向けた育児支援の様子

まちの回遊性向上とにぎわいづくり

オ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 7,146千円(対前年度比 1,809千円増)】

企業等と協働し、地域資源を活用した区内の回遊性向上を図るとともに、GREEN×EXPO 2027の開催や環境に配慮したライフスタイル等の機運を醸成します。また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取り組みを支援するとともに、身近な地域課題の解決に取り組みます。

(1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(4,145千円)【拡充】

にしく緑花サポーター制度の推進や、GREEN×EXPO 2027の機運醸成、横浜駅の環境向上・美化の推進、「温故知新のみち」を活用した区内の魅力資源の周知・発信を行います。

① 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

「にしく緑花サポーター」登録団体等への花苗等の配布を通じて、花と緑のまちづくりを推進します。

また、「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し区内の回遊性を高めるほか、脱炭素化の取組を加速化させていくためにも、GREEN×EXPO 2027の開催に向けて区内の機運醸成を図ります。



GREEN×EXPO 2027のPRの様子

■参考：にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】31か所(令和7年1月末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：16か所

公共施設等：15か所



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

② 横浜駅西口周辺での公民連携による美化・環境向上の推進

GREEN×EXPO 2027に向け、来街者の増加が見込まれる横浜の玄関口である横浜駅周辺において、美化・環境向上に取り組みます。地域と事業者及び行政の協働で行っている「きれいなまちづくり検討会(※1)」が、より具体的な取組ができるよう必要な経費を支援します。(下記参照)(※1)「きれいなまちづくり検討会」構成員：南幸自治会、横浜駅西口商店会連合会(横浜駅西口五番街商店会協同組合・横浜西口商和会商店街・西口幸栄商店会)、パルナード管理協議会、一般社団法人横浜西口エリアマネジメント、資源循環局、都市整備局、西区

◇行政・地域団体・企業の連携による横浜駅西口周辺の環境向上◇

横浜駅西口周辺は商業施設や飲食店が数多く立地し、国内外からの来街者が多い、活気あふれるエリアです。一方、たばこのポイ捨て、路上ごみの散乱、客引きが目立ち、清掃や防犯活動に自治会、商店街、エリアマネジメント団体の皆様、日々取り組んでいます。



西口周辺の清掃活動

2年後のGREEN×EXPO 2027に向け、横浜駅を訪れる方々が、安心して快適に滞在を楽しめるよう、新たにIoTごみ箱の運営支援や「きれいなまちづくり検討会」の活動を支援します。※予算総額：200万円(詳細はオ(1)②及び20ページケ(2)②を参照)

③ まち歩きルートの啓発等

まち歩きルート「温故知新のみち」を活用し、区内の魅力資源を周知・発信し、区内の回遊性向上を図ります。また、区内に設置している案内サインについて維持管理を行います。

(2) 環境行動推進事業(2,021千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 環境行動推進の取組

脱炭素など環境に配慮した具体的取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」や区内企業と連携した環境学習イベントを実施します。

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：「にしくSDGsパネル展」

【実施期間】令和7年1月15日～令和7年3月11日

【事業概要】西区の若い世代が作成した絵画などの作品を展示

【会場】市庁舎及び区内4会場にて巡回展示

【参加校】7校 【作品数】62点



「にしくSDGsパネル展」チラシ

(3) 地域連携交流事業(980千円)【拡充】

「にこまちプラン」の推進に向けて、地域支援の拡充と地域人材の発掘・育成を図るため、地域活動の支援を行うほか、まちづくりアドバイザーを派遣します。

また、地域と行政間のコミュニケーション手段として、デジタルツールを試行的に活用します。引き続き、包括連携協定を締結した神奈川大学との連携強化を図ります。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生が地域活動を円滑にスタートできるよう、最大3年間の補助金交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するために、まちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 地域と行政の情報共有プラットフォームの試行

主に自治会町内会と西区でデジタルツール(LINEWORKS等のアプリ)を活用した情報共有を行い、地域の負担軽減・連携強化を図ります。

④ 神奈川大学との連携

神奈川大学との包括連携協定に基づき、地域の課題解決やSDGsの推進など新たな展開が創り出せるよう、具体的な取組についての協議を進めていきます。

■参考：神奈川大学との連携実績例

令和6年度：

①地域大修士生による学生向けワークショップの実施（6月）

②神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト（6月～12月）

③西区在住シニア層へのインタビュー実習にシニアを派遣協力（12月）



学生による西区在住シニア層へのインタビュー実習

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力を情報発信することで“まちのにぎわい”を創出します。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,360千円)

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「商店街を巡るスタンプラリー」を開催し、商店街や個店への誘客促進を図り、併せて、まちの賑わい創出につなげます。

事業実施にあたっては、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めます。(秋ごろ実施予定)



スタンプラリー冊子(令和6年度)

■参考：令和6年度実施内容

事業名：西区ぱくぱく&てくてくスタンプラリー

実施期間：8月19日(月)～9月30日(月)

対象店舗数：172店舗

12商店会：152店舗
横浜西区LOVEWalker掲載：20店舗

応募件数：1,536件(総スタンプ数：3,880個)

【参加者からの主な声】

- ・普段行かない店に行ったり、スタンプをもらうために500円以上の商品を購入したりするので、少し財布の紐がゆるくなります。
- ・最近忙しくネットスーパーを多用していたが、休日に子どもと商店街を歩いて買い物をする良い機会になりました。
- ・お店の人たちとの会話も弾んで楽しかったです。



専用アプリ不要。
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー

(2) 西区情報発信事業(550千円)

西区内の商店街の様々な魅力を市民目線で発掘・発信していただく機会として、フォトイベントを開催します。商店街にまつわる写真を募集し、撮影のために商店街を訪れる機会を増やすことで商店街の活性化を図り、まちの賑わいづくりにつなげます。

【予算額 4,339千円(前年度比 300千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

また、ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層がスポーツを通じて地域に愛着を持つ機会を創出します。

(1) トップスポーツチームとの連携 (180千円)

横浜市のトップスポーツクラブと「区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

■参考：

①横浜DeNAベイスターズ (野球)

【開催日】 令和6年5月30日、6月4日、5日、6日
(いずれも横浜スタジアム)

【対象者】 西区在住の方 抽選

【当選数】 693人 (全体応募数916人) ※全日程合計

②横浜FC (サッカー)

【開催日】 令和6年6月1日 (ニッパツ三ツ沢球技場)

【対象者】 西区在住・在勤・在学の方先着1,000人を優待
(高校生以下招待)

【来場者】 534人 (全体来場者5,414人)

③横浜F・マリノス (サッカー)

【開催日】 令和6年10月18日 (日産スタジアム)

【対象者】 西区在住の方 抽選ペア100組200人

【来場者】 130人 (申込180人)

④横浜エクセレンス (バスケットボール)

【開催日】 令和7年1月10日、11日 (横浜武道館)

【対象者】 西区在住・在勤・在学(在園)の方と家族を優待
及び横浜エクセレンスの試合を初めて観戦する方
各日抽選ペア100組200人をご招待

【来場者】 166人 (申込198人) ※2日間合計

⑤ (予定) 横浜キャノンイーグルス (ラグビー)

【開催日】 令和7年2月8日 (ニッパツ三ツ沢球技場)

【対象者】 神奈川区・西区在住・在勤・在学の方とその家族
先着1,000人をご招待

⑥ (予定) 横浜ビー・コルセアーズ (バスケットボール)

【開催日】 令和7年3月29日 (横浜国際プール)

【対象者】 西区在住・在勤・在学の方とその家族・友人
先着150組300人をご優待



にし区民 DAY (横浜 FC)



にし区民 DAY (横浜エクセレンス)

(2) インクルーシブスポーツの推進 (1,184千円)

インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

■参考：令和6年度実績
【開催日】令和6年11月10日 西前小体育館
【参加者数】約3,830人(延べ人数)
(種目別参加者数) ポッチャ：830人
風船バレー：1,040人
レーシング用車いす体験：920人
車いす走行体験：1,040人
【協力団体】横浜市スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員、横浜ラポール、バセル、スポーツ推進委員、青少年指導員、西スポーツセンター



レーシング用車いす試乗体験の様子

(3) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(2,200千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区ハマのウォーキングフェスティバル実行委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルを実施します。

■参考：第18回西区ハマのウォーキングフェスティバル
【開催日】令和6年12月1日
【参加者数】1,270名
【コース】大さん橋コース(長距離/約8km)
ドックヤードコース(短距離/約4km)



ゴール会場(臨港パーク)(令和6年度)

(4) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

西土木事務所管理の10公園には藤棚が設けられているなど、区内には町名にも使われている「藤」の木が多く、西区の地域資産となっていますが、春の開花時期に花が咲き広がらない藤棚も存在します。公園藤棚の再生に向けた適切な維持管理は継続しつつ、ご家庭でも育てられる鉢植え藤（一才藤）に関する管理講習会を専門家に委託して開催することで、区民の方に「藤」をより身近に感じてもらえるような取組を推進します。

また、西区では市街化の進展によって緑が少なくなっていますが、その中で残された大規模な公園や緑地とともに、身近にある公園は区民が緑を感じることでできる貴重な場となっています。花壇を有する区内の公園に対し、季節感のある花苗の提供や協働での植え付け作業を行うことで地域のつながりを形成しつつ、「公園のまちヨコハマ」を推進し、GREEN×EXPO2027の機運醸成を図ります。

(1) 藤の花再生・拡充の推進(1,201千円)【拡充】

① 公園藤棚の再生・維持管理

藤棚において、花を一面に咲かせるには適切な維持管理が必要です。中でもツルの誘引、花芽を意識した冬の剪定は開花に必要な重要な作業となることから、土木事務所における区内10公園の藤棚の日常的な維持管理に加えて、冬季の藤棚剪定については専門家へ委託して実施することにより藤棚の再生を図ります。(通年)



藤棚冬季剪定の様子

② 専門家による鉢植え藤の管理講習会

より身近に藤を感じてもらえるよう、鉢植えでも生育が可能で、幼木のうちから開花する性質を持つ藤（一才藤）の普及啓発を図ります。

区民の方へ藤の魅力を伝えていくため、広報等も活用しつつ、鉢植え藤の育て方・管理方法等について学ぶことができる講習会を、藤の専門家へ委託して開催します。(年1回)



管理講習会のイメージ

③ 藤に関連した取組の情報発信

令和元年度に発足した「藤の花再生プロジェクト」の取組に絡め、公園藤を含めた区内の藤棚スポットのPRやその他の藤に関連した取組について、X（旧Twitter）や西土木事務所ホームページ等を活用して随時情報発信を行います。(通年)

(2) 公園・施設等の緑化推進(3,799千円)

① 花苗・球根の購入・提供と花苗植えの協働実施

区内32公園において花苗や球根の提供を行いつつ、公園愛護会や地域の子どもたちにも参加してもらおう形で協働による花苗植えを行います。

また、季節の移り変わりを感じてもらえる花苗等の選定に加え、宿根草を組み合わせることで植替え時の手間や費用を抑える持続可能な取組としていきます。(年2回、32公園)



公園での花苗植えの様子

安全・安心なまちづくり

ケ 西区 みんなでエコアクション！推進事業

(地域振興課)

【予算額 3,851千円(前年度比 704千円増)】

横浜市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの資源化・減量化啓発事業の実施や地域清掃の支援により、ごみの減量・3R意識の向上と地域美化の進展を引き続き目指してまいります。

新たな処理基本計画「ヨコハマ プラ5.3 (ごみ) 計画」が策定され、脱炭素社会の実現に向け、令和7年4月からのプラスチックごみの分別ルールの変更や使い捨てプラスチックの削減(リデュース)などに取り組み、身近な脱炭素への取組を各家庭で取り組んでいただけるよう、丁寧に呼びかけてまいります。

また、対面を中心とした環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、豊かな地球環境を次世代に残すため事業効果の最大化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO2027開催に向け首都圏有数のターミナルである横浜駅周辺地区をはじめとして、きれいな街づくりを推進し、美化・清掃活動を積極的に行います。

(1) 環境に配慮した行動推進事業(1,110千円)

① ごみの減量・リサイクルの推進、ごみの発生抑制、食品ロス・手つかず食品の削減、プラスチック削減

環境行動推進本部総会及び西区環境行動功労者表彰を実施し、3Rの推進に功労のあった個人又は団体に対し表彰を実施します。

■参考 R6年度 個人7名、団体無し



令和6年度 表彰式の様子

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広く関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時に環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用します。

企業と協働して実施する店頭啓発では、環境問題を身近な事を感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを開催します。

■参考 R6年度 店頭啓発実施回数 7回



プラスチックフリー啓発物品の例

デジタルサイネージを活用した啓発では企業と連携し、フードロス問題と防災を絡めるなど、区民の関心の高い内容で行うことにより、効果的な啓発を引き続き実施してまいります。

■参考 無印良品 NEWoMan YOKOHAMA店



デジタルサイネージを活用した視認啓発の例

② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座の実施。

講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童のリサイクルに対する理解度を高めています。

分別ルールの変更なども取り入れ、子育て世代をターゲットに分別ルール変更の認知度向上にも取り組みます。



リサイクル講座（エコキャンドル作り）の様子
（一本松小学校放課後キッズクラブ）

(2) 清潔で美しい街づくり推進事業（2,741千円）【拡充】

① 地域清掃活動の支援

- ・自治会・町内会へ清掃用具の配布。(希望調書：4月、8月頃配布予定)
- ・区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献清掃活動の支援。
- ・企業・団体等による清掃活動（WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER 令和6年12月末：78団体）の支援と、横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに！」キャンペーンの他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施。



横浜平沼高校生徒による清掃活動

② きれいな街づくりの推進

・地域・事業者・行政で立ち上げた検討会にて、地域課題の吸い上げや、ポイ捨ての多いエリア・時期に清掃委託の実施を検討することで、街の美化・環境改善の拡充を図ります。

・ポイ捨て対策として、帷子川沿いのポイ捨て禁止看板や新田間川遊歩道で実施している横断幕・ポイ捨て抑制路面シールによる啓発を継続。

・GREEN×EXPO2027に向け、多くの来街者で賑わう横浜駅西口のきれいな街づくりの推進のため、スマートごみ箱設置事業者へ補助金を交付し、支援を行います。

※スマートごみ箱とは、IoT（Internet of Things）技術を活用した次世代型ごみ箱のことです。



クリスマス清掃イベント



スマートごみ箱「SmaGO」

コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)(生活衛生課)

【予算額 20,285千円(対前年度比 7,755千円増)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向けて、新たな横浜市地震防災戦略も踏まえ、地域防災拠点訓練や防災・減災啓発活動等を実施し、地域防災拠点の機能強化及び自助・共助の推進を図ります。

また、各種災害に備え関係機関と連携した防災訓練を実施するなど区本部機能を強化するとともに近年増加する局地的大雨に対応できるように河川水位情報伝達システムを更新します。

(1) 地域防災拠点の機能強化(1,160千円)【拡充】

① 円滑な避難所運営に向けた支援

円滑な地域防災拠点(以下、「拠点」)が運営できるよう、資機材や備蓄品の維持管理に努めるとともに、新たにペット対策用の物品を配備します。

② 地域防災拠点訓練の実施と多様な避難者への対応支援

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

(各拠点 年1～2回 実施時期：通年)

また、地域防災拠点において多様なニーズ(妊産婦・乳幼児、高齢者、障害者、外国人等)に対応できるように、関係する各課、団体等と連携した支援を行います。



浅間台小学校地域防災拠点訓練
(令和6年度)

(2) 区本部の防災機能強化(15,727千円)【拡充】

① 震災・風水害対策の強化

災害シミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部機能を強化するとともに、区社会福祉協議会と連携し災害ボランティアセンターの設置訓練等を実施します。さらに帰宅困難者対策として帰宅困難者一時滞在施設に対し受け入れシミュレーション訓練を実施します。

- ・風水害対策訓練(5月)
- ・震災対策訓練(7月、1月)
- ・ボランティアセンター設置訓練(10月)
- ・帰宅困難者受け入れ訓練(6～8施設、時期未定)



震災対策本部訓練
(令和6年度)

② 河川水位情報伝達システムの更新

河川の水位が上昇した際に周辺住民等に対して水位情報や避難指示を発報するため平成17年度に設置した、河川水位情報伝達システム(情報処理装置及びスピーカー5カ所)の更新を実施します。



河川スピーカー位置図

③ 災害医療対策の推進

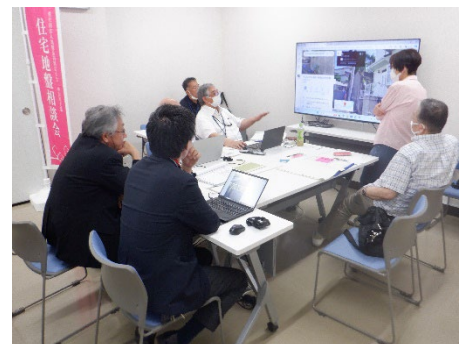
区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊巡回訓練及び医療救護隊検討会、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(2～3月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(3,398千円)

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

相談者の満足度が非常に高い、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。(6月)



崖地相談会の様子(令和6年度)

■参考：令和6年度実績

参加者：6月23日(6組)、24日(6組) 計12組

アンケート結果：大変参考になった8組・参考になった4組

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレーカー(簡易タイプ)の購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレーカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績

【感震ブレーカー補助実績】

- ・令和4年度：2団体・90個
- ・令和5年度：2団体・15個
- ・令和6年度：4団体・174個

【初期消火器具更新実績】

- ・令和4年度：1団体・1基
- ・令和5年度：2団体・2基
- ・令和6年度：1団体・1基

③ 区民への防災・減災の普及啓発

多世代への防災・減災啓発を目的に、消防、警察等と連携して防災イベントを実施します。(時期未定)

また、赤ちゃん教室での防災講話(年9回)の新規実施や子育て世帯への防災啓発グッズの配布、広報よこはま西区版で防災特集による啓発、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーなど、あらゆる機会を捉え、幅広い世代に防災啓発を実施します。



防災イベントの様子(令和6年度)

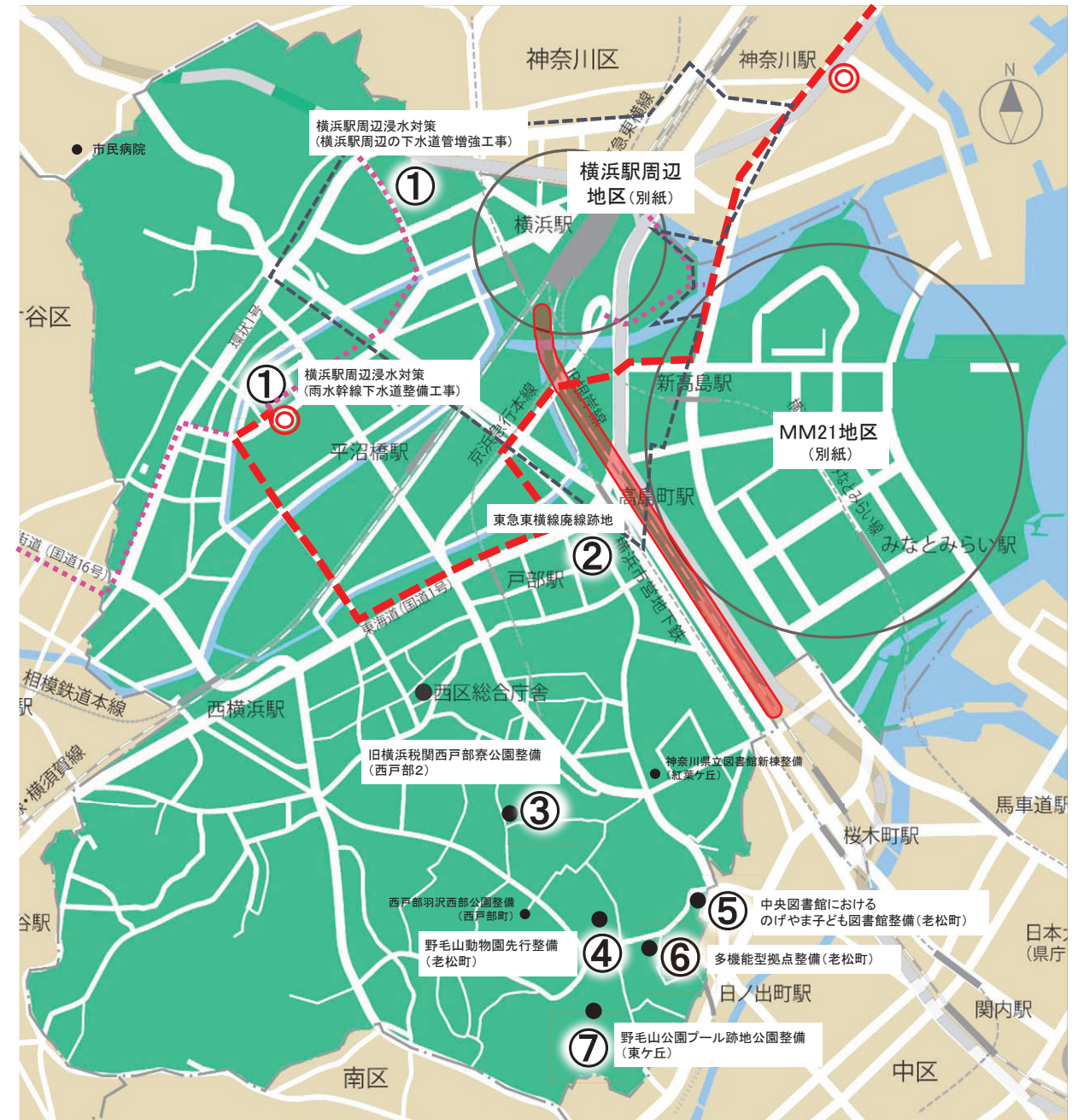


子育て世帯への防災啓発グッズ(令和6年度)

【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線下水道整備工事事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線の整備を進めています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、岡野公園の野球場の一部に雨水幹線の立坑を設置する工事を行っています。令和5年12月に雨水幹線のシールド工事にも着手し、現在、神奈川区の神奈川公園内で、シールドマシンが発進するための立坑を設置する工事を行っています。供用開始は令和12(2030)年度を予定しています。 また、新たに整備する雨水幹線に横浜駅周辺の約140ヘクタールに降った雨を取り込むため、地域の雨水を排水している下水道管の増強などの工事を実施していきます。令和7年度からは事前調査として管きよの測量及び他企業の地下埋設物等の位置を確認するための試掘工事を実施します。また、この結果を元に設計を進め、7年度後半からは本格的な下水道工事に着手していきます。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地 令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など利活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っています。 6年度は、補強等が困難な浅山橋交差点から高島町交差点までの構造物の撤去工事を進めるとともに、5年度に行った周辺エリアの歩行者流動調査等を踏まえ、改めて遊歩道整備の基本計画の検討を進めます。</p>
③	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 (公園面積 約1,500㎡) みどり環境局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備します。 現在は公園施設の工事を進めており、令和7年春の供用開始を予定しています。</p>
④	<p>野毛山動物園先行整備 野毛山動物園リニューアルの先行整備として、ふれあいコーナーへの屋根設置やなかよし広場の休憩所の建替え、園内トイレの改修等を行います。供用開始は令和7年4月を予定しています。 また、動物園の大池前にある広場について再整備を行い、令和6年4月13日に供用開始しました。</p>
⑤	<p>中央図書館におけるのげやま子ども図書館整備 中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる、居心地の良い“子ども図書館”としてリニューアルします。また、誰もが使いやすい図書館となるようインクルーシブな環境づくりを進めます。 令和7年度は、「おやこフロア」を先行開設するとともに、「子どもフロア」の整備を進めます。</p>
⑥	<p>多機能型拠点整備 (旧青少年交流センター跡地) 西区老松町の旧青少年交流センター跡地を市内5館目の多機能型拠点整備用地とし、運営法人の公募を実施しています。(令和10年度開所予定)</p>
⑦	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 (土地面積 約6,200㎡) プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行ってきましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、周辺のまちづくりの動向をふまえ検討を行います。</p>

【参考】西区開発動向分布図



【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

①中央西口駅前広場については、JR横浜タワー前の屋根を令和3年6月に、高島屋前屋根を令和5年1月に供用開始し、中央西口駅前広場における屋根整備は完了しました。GREEN×EXP02027の開催に向け、今後舗装等の駅前広場整備を進めます。

②きた西口駅前広場については、令和6年9月に屋根工事が完了しました。GREEN×EXP02027の開催に向け、今後広場の舗装の整備を進めます。

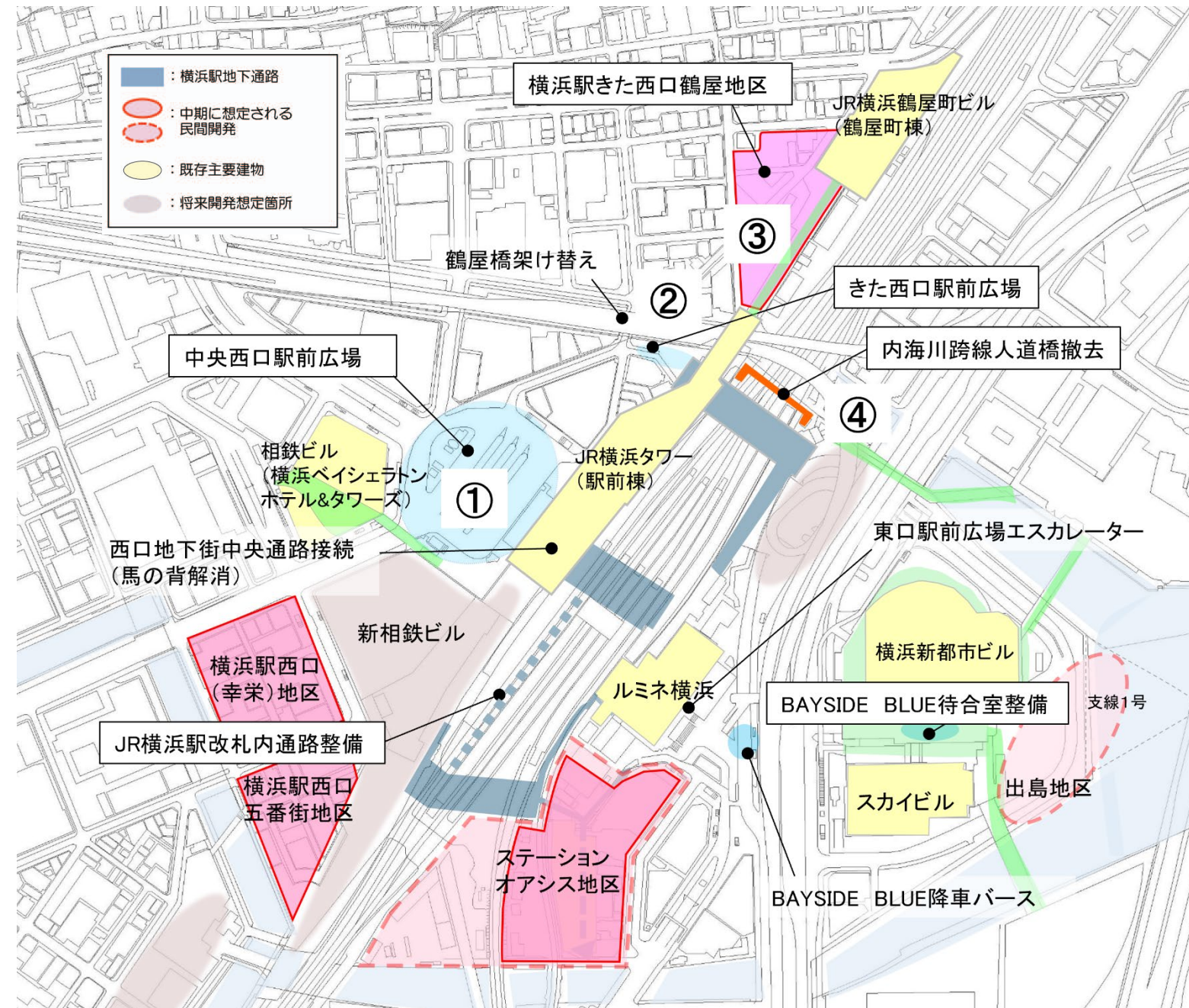
横浜駅東口

横浜中央郵便局周辺における民間街区（ステーションオアシス地区の東側エリア）について、日本郵政不動産、JR東日本、京急電鉄を事業協力者として、令和6年6月に市街地再開発準備組合が設立され、組合において早期事業化に向けて、事業計画などの検討を進めています。

また、出島地区について、東口臨海地区連絡協議会を令和6年7月に再開し、中長期の視点での将来像の検討を進めています。

これらに関連する施設として、駅前広場やデッキ、支線1号線等、東口全体の基盤整備計画について横浜市が中心となり検討を行っています。

①	中央西口駅前広場 令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始 令和5（2023）年1月 横浜高島屋前の屋根完成 引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定
②	きた西口駅前広場 令和元（2019）年7月～ 令和3（2021）年4月 エレベーター供用開始 令和6（2024）年9月 屋根完成 引き続き、舗装整備等の広場整備を行っていく予定
③	横浜駅きた西口鶴屋地区（再開発ビル） 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合 階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等 平成29（2017）年度 再開発組合設立 令和元（2019）年度 建築工事着工 令和5（2023）年度 再開発建物竣工 令和6（2024）年度 交通広場供用開始予定 令和7（2025）年度 事業完了予定
④	内海川（うつみがわ）跨線人道橋撤去 平成30（2018）年～令和6（2024）年 令和4（2022）年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手 令和5（2023）年度 鋼材や基礎などの撤去工事やPCB処分を実施 令和6（2024）年度 鋼材の撤去や信号設備支障移転、作業ヤード復旧工事等を実施し撤去事業完了



【全体スケジュール】

令和元（2019）年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手	令和3（2021）年6月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了→JR横浜タワー前屋根供用開始
令和元（2019）年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手	令和3（2021）年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和元（2019）年12月	西口地下街中央通路接続事業（馬の背解消）新設通路開通	令和4（2022）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和2（2020）年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工	令和5（2023）年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成→中央西口駅前広場屋根全面供用開始
令和2（2020）年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了	令和6（2024）年3月	③横浜駅きた西口鶴屋地区の再開発建物竣工
令和2（2020）年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手	令和6（2024）年7月	④内海川跨線人道橋撤去工事完了
	JR横浜駅改札内通路整備完了	令和6（2024）年9月	②きた西口駅前広場 屋根完成
令和2（2020）年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了		

